

ネパール治水砂防技術交流会ネパール訪問概要

ネパール治水砂防技術交流会の訪問団 5 名は、11 月 23 日から 30 日にネパールを訪問し、JICA のプロジェクトで取組んだモデルサイトの現地を訪れるとともに、ネパール政府の治水砂防担当官をお迎えし、プロジェクトのカウンターパート、トリブバン大学関係者等にご出席いただき、「DPTC/DMSP プロジェクト 33 年の歩み／これから」と題した座談会を開催するなどの活動をしてきました。

以下に速報として、その概要を紹介します。

1. 訪問団メンバー

- ・ 亀江幸二（理事長）
- ・ 内田英一（副理事長）
- ・ 檜垣大助（常務理事）
- ・ 石渡幹夫
- ・ 北原一郎

2. 行程

- 11 月 23 日（土） 成田出発～カトマンズ到着
- 24 日（日） 終日準備
- 25 日（月） 旧モデルサイト視察（ピパルタール）
- 26 日（火） 旧モデルサイト視察（カトマンズ - ノービセ道路、ダハチョーク、トリスリ 19km）
- 27 日（水） JICA ネパール事務所訪問、座談会、意見交換会
- 28 日（木） ナグドゥンガトンネル視察
- 29 日（金） カトマンズ出発
- 30 日（土） 成田到着

※檜垣常務理事は、弘前大学メンバーとともに 11 月 20 日（水）にカトマンズ到着

3. 座談会

(1) 出席者（敬称略）

- ・ 日本側
 - ・ 訪問団 5 人
 - ・ 弘前大学
 - ・ 鄒 青穎
 - ・ 川上礼央奈
 - ・ 柿沼隼人
 - ・ JICA ネパール事務所
 - ・ Ryouhei Taniguchi
 - ・ Panthi Gaura Kumar
 - ・ Yuta Makabe
- ・ ネパール側
 - ・ プロジェクト関係者
 - ・ Jagat Bhusal (DPTC)
 - ・ Shital Babu Regmee (DMSP)
 - ・ Pradip Thapa (DPTC)
 - ・ S.C. Amatya (DWIDP)

- ・ Madhukar Rajbhandari (DWIDM)
- ・ トリブバン大学関係者
 - ・ Vishnu Dangol (Geology)
 - ・ Narendra M. Shakya (River Engineering)
 - ・ R. Thapaliya (Crises Management)
- ・ 政府関係者
 - ・ Santos Kaini (DDG, DWRI)
 - ・ Dinesh Rajauria (ED, WRRDC)

(2) 座談会次第

1. 開会
2. 自己紹介
3. 挨拶
 - ・ 亀江幸二
 - ・ Jagat Bhusal
4. プレゼン・意見交換
 - A. ネパールにおける治水・砂防の現状
 - ・ プロジェクトモデルサイトの現状
 - ・ DPT/DMSP プロジェクトと両国間のその他の協力から得られた教訓
 - B. 「ネパール・日本砂防データベース」の構築（案）
 - ・ 図書館等に保管されている水に起因する災害に関する資料のデジタル化の経緯とデータベースの内容紹介
 - ・ 松下忠洋氏・大井英臣氏追悼展示の内容と今後の管理
 - C. ネパールにおける水に起因する災害対策の将来展望
5. 全体意見交換
6. コメント
 - ・ Dinesh Rajauria (ED, WRRDC)
 - ・ Santosh Kaini (DDG, DWRI)
7. 閉会挨拶
 - ・ Shital B. Regmee
 - ・ 檜垣大助

なお、詳細については、今後資料整理を行なったうえでアップする予定ですが、次のようなポイントが確認されました。

○今回訪れたプロジェクトのモデルサイトにおいては、プロジェクト活動による成果が顕著に現れているサイトや本年9月の豪雨によって再び被災したサイトがありました。

○座談会においては、次のような趣旨の意見が出されました。

- ・ プロジェクトの成果への称賛
- ・ ネパールの国家体制の変化等によって水に起因する災害に対する組織力の低下と予算の減少が見られ、これらの改善が必要
- ・ 地球温暖化等を踏まえると、今後さらに、ネパールにおける水に起因する災害について、ハード・ソフト両面での対策とともに、関連する研究の推進が必要。またそのためにも日本－ネパールの技術協力が必要



日本の「草の根無償」で実施した山腹工の現状と
探し出した銘盤（ミキサー車の後ろ）をバックに



座談会の様子
(プロジェクト実施時の建物内会議室にて)